



日刊 労働千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

94.8.19 No. 4048

『労働運動の再生を』『ぜひ参加したい』『共に努力を』…**広がる共感**

9.18集会へ闘いは進む!

続々と寄せられる賛同署名
—すでに100(個人)を超え(8月上旬)

九・一八労働者集会への賛同が大きく広がっている。動力千葉と実行委員会が連日の猛暑をうけて首都圏を駆け回ったところ、八月上旬で一〇〇をこえる団体・個人より九・一八集会の趣旨に賛同するという署名が寄せられている。

昨年細川連立政権の発足として六月の村山自社連立政権の発足は、労働現場に大きな混乱をもたらしている。職場生産点に立脚し、真面目に労働者のための労働運動を行

●反戦・平和、解雇撤回、首切り合理化と闘う労働運動をつくりだすために私もこの集会に賛同します。

《国労D分会分会長》

●職場は郵政省の下請け企業で郵政省が「効率化促進」を打ち出すたびに合理化攻撃を受け、真に資本と対決する運動を築くことに共に努力したいと思えます。

《全通E営業所分會》

●今、労組は中小を除くとほとんど基本的賃闘すら闘わず、ひたすら資本へのすり寄りをもっぱらとしている状況です。労働運動の再生をかちとらねばと切実に思っているところです。

《B市職労中央委員》

なおうとする役員・活動家や各地域で孤軍奮闘している仲間が闘う指針を求めているのである。われわれは、今日の資本による矢継ぎ早の合理化攻撃、闘う労働組合の排除、不当な解雇攻撃を見るにつけ、本場に闘う労働運動の再構築が求められている状況は、かつてなく高まっていると言わざるを得ない。

●政治情勢の基本的な流れは反動体制の強化であり、いまこそ労働運動の真価が問われている時だと思えます。

《A地区労働長》

●連合の安保・自衛隊を認める立場を最も反動的に純化したのが社会党村山政権だ。労働者の村山政権について持つ危機感を組織し、九・一八集会を成功させよう!

《埼玉教組F分会》

●私たちは、昨年五月に結成したばかりの小さな組合です。しかし、「一人の首切りも許さない」ことをスローガンに、二次にわたる解雇攻撃をはねかえして闘っています。九・一八集会にはぜひ参加させていただきま

《出版関係労組》

■岩井章氏の問題提起

(国労大会での発言より)

▼二つのことを訴えたいと思います。ひとつは、闘争団一〇四七名のことで、闘争団というものは、国労の宝であり、日本労働運動の宝だと認識したいんです。お荷物じゃないんです。ところが、国労のなかで出回っている怪文書には「闘争団はお荷物だ」という考え方があり、極端に言えば、いい加減でもいいから早く終わりたいという気持ちが表れています。誰一人として、早く解決したいと希望しない人はいません。だけど、早くということと勝利というのは、うまく両立すれば結構ですが、勝利を犠牲にして早くやめようというように考えてはいけません。闘争団の問題を早く解決すれば、JR内の闘争に全力を注ぐことができるなどという話は成立しません。一〇四七名の方をいい加減に解決すれば、私は、さらに激しい差別によって、国労は乱暴に言えば雲散霧消すると思います。国労闘争団の勝利こそが、すべての労働運動を復権させる道だということについて、皆さん自身が疑いをもたずに確信するならば、「お荷物」などという考え方はでてこたはずです。

▼二つ目は社会党のことです。私は党員の立場から苦言を呈したい。苦言なんていうお手柔らかなものじゃない。社会党は、方針転換を進めていけば社会党ではなくなると思います。自衛隊は合憲だの安保は認めるというように言っていけば、ほかの保守党となんら違うところはないわけですね。私自身は、社会党の復権とはどういふことであるかというのを考えているわけですが、もう私は社会党とおさらばしたい。少なくとも、五〇年もかけてやってきた党が、護憲・平和という路線をかえるということは、もう我慢ができない。我慢ができないから一人だけで脱党するのはあまりにも敗北主義ですから、私は、新しい運動体をつくるべきだと考えています。社会党問題も後で議論されるでしょう。その際に、いったい社会党がなくなった後、日本の政治情勢はどうなるのか、そこまで思いを致しながら議論をして頂きたい。

九・一八労働者集会へ結集を
と き 九月一八日(日)
一三時から

ところ 東京都勤労福祉会館
記念講演 岩井章氏(元総評事務局長)
指定列車 千葉駅 十一時三九分快速列車